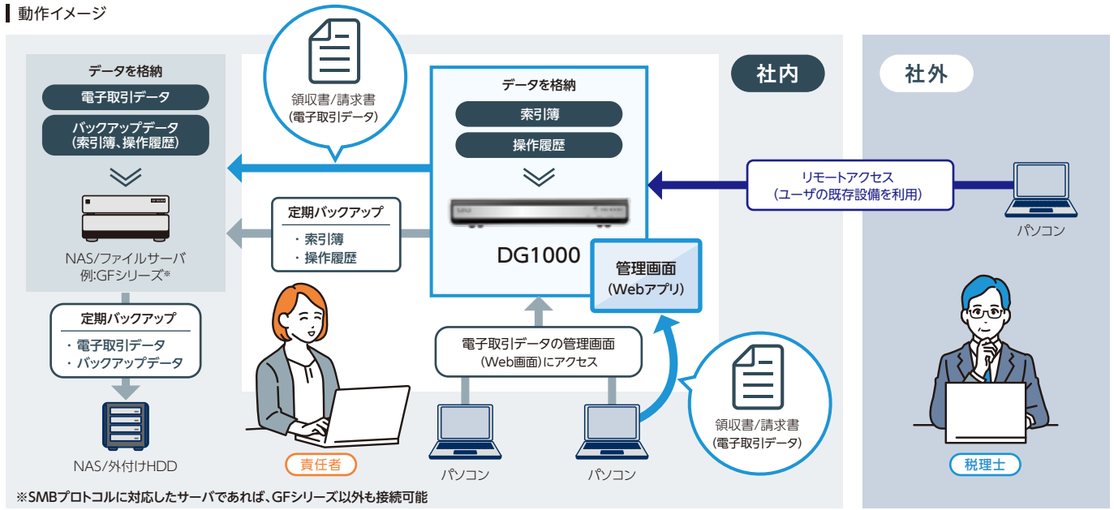
動作イメージ



※SMBプロトコルに対応したサーバであれば、GFシリーズ以外も接続可能

スペック・機能一覧

対応ブラウザ	Microsoft Edge ／ Safari	
連携ストレージ	SMBプロトコルに対応	連携ストレージの空き容量は50GB以上を推奨 (保存期間10年、年間稼働日250日、1日20件、1ファイル平均1MBで想定)
電子取引データの登録/閲覧	登録可能属性情報	取引日、取引先、金額等の情報を登録 (索引簿に100,000件以上登録可能)
	電子取引データ保存先	SMBプロトコルに対応するNASに対応
	プレビュー表示可能なファイル形式	PDF、画像(JPEG、PNG、GIF、BMP)の5種類
	インボイス対応	電子取引の属性情報の一部として一元管理
操作履歴	操作履歴保存	電子取引データの登録、訂正、削除を行った場合に、履歴として記録(100,000件以上保存可能)
	操作履歴閲覧	過去1000件分の操作履歴の閲覧が可能
	操作履歴エクスポート	過去のすべての操作履歴取得が可能(管理者のみ)

利用人数	社内	管理者(最大3人) ＋ 一般社員(最大12人) ：計最大15人	社外：3人
アクセス制御	操作・利用制限	管理者、一般社員、社外ユーザの3種類で権限管理	
電子取引データの管理	データ検索	取引日、取引先、金額等の条件により電子取引データを検索	
	データ訂正	電子取引データの属性情報訂正 (管理者のみ)	
	データ削除	電子取引データの削除 (管理者のみ)	
	索引簿エクスポート	索引簿をCSV形式でエクスポート(管理者、社外ユーザのみ) (最大2万件)	
保守関係	バックアップ	NAS/ファイルサーバに索引簿と操作履歴のバックアップ	
	リストア	NAS/ファイルサーバから索引簿と操作履歴をリストア	
	リモート保守	障害発生時に販売店、お客様相談室が遠隔で障害切り分け	

注意事項

- ●DG1000単体では、ご利用いただけません。
- ●本製品と連携するNAS/ファイルサーバのデータはバックアップすることを推奨します。
- ●登録可能な電子取引データのファイルサイズには上限があります。(20MBまで)
- ●電子取引データの保存には、本装置導入に加え、事務処理規程を設ける必要があります。
- ●設定データのバックアップを推奨します。

代替機発送サービス
(有償サポート／要登録)

故障時は新品同様の代替機をお送りします。故障期間を最小限に止め、安心して業務の継続が可能です。

サクサエコ商品　サクサエコ商品について

安全に関するご注意

- ●本商品ご購入後は、添付の「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。「取扱説明書」には本商品をご購入されたお客様や他の方々への危害や財産の損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。
- ●水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所には設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。

〔本体について〕●本製品は、電子取引データを管理するための装置です。●本製品はネットワーク機器です。正しい知識を持った方が設置および初期設定を行ってください。●本製品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。●本製品は、外国貿易法で定める規制対象貨物・技術に該当する製品です。この商品を輸出する場合または国外に持ち出す場合は、日本国政府の輸出許可が必要です。●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、販売終息後7年です。●本カタログに記載されている会社名や製品名は各社の商標または登録商標です。●仕様、外観は予告なく変更する場合があります。●カラーは印刷の都合上、実際と異なる場合があります。

サクサ株式会社

本社/〒108-0073　東京都港区三田1-4-28　三田国際ビル

■営業本部

●オフィス営業部

東京第一支社　☎(03)5791-3931
東京第二支社　☎(03)5791-5530
東京第三支社　☎(03)5791-5524
東北支社　☎(022)297-5835
北関東支社　☎(048)650-9311
中部支社　☎(052)220-3930
関西支社　☎(06)6367-0393
九州支社　☎(092)473-1511
札幌営業所　☎(011)281-1035
静岡営業所　☎(054)653-7711
金沢営業所　☎(076)255-0393
高松営業所　☎(087)861-7450
広島営業所　☎(082)511-7555

●お客様相談室：0570-001-393　☎(050)5507-8039

URL　https://www.saxa.co.jp/

● お問い合わせ・ご用命は

このカタログの記載内容は2025年9月現在のものです。

このカタログは再生紙を使用しております。

SA-0763

サクサ　電子データ管理ゲートウェイ

DG1000

電子取引データを
かんたん管理

各種データ登録・
検索の手間を大幅削減

Office AGENT

電子取引データの保存義務化が開始

2022年より施行された改正電子帳簿保存法（以下、電帳法）。これは各税法で保存が義務付けられている帳簿・書類を電子データで保存するためのルール等を定めた法律です。主な保存区域は以下の3種類。これまで印刷した紙での保存も認められていた「電子取引」ですが、2024年1月から電子データのまま保存することが義務化されています。

詳細はコチラへ

区　分	書　類	保 存 方 法
区分 1 電子帳簿保存	帳　簿 例：PCで作成した売上帳	紙 or 電子データ（例：Excelデータ）
区分 2 スキャナ保存	書　類 例：紙で受領した領収書	紙 or スキャンした電子データ（例：PDFデータ）
区分 3 電子取引	電子取引データ 例：ECサイトの領収書 メールに添付された請求書	電子データ※（例：PDFデータ） 本装置は区分3対応をサポート

CHECK!

すべての事業者は電子取引データの保存義務化※に対応する必要があります！

Q 電子取引データの保存義務に対応しないとどうなるの?

A 電帳法の要件に従った保存がされていない場合、帳簿書類として**取り扱ってもらえません。**

Q 受け取った電子領収書や請求書を、不正に訂正・削除するとどうなるの?

A 電子取引データの改ざん等により不正計算がされている場合、**課税になるおそれがあります。**

電子取引データの保存義務化に対応するには

要件		措置	SAXA（電子データ管理ゲートウェイ）
真実性の要件 ※次の措置のいずれかを行う		①タイムスタンプが付された後、取引情報の授受を行う。	非対応
		②取引情報の授受後、速やかにタイムスタンプを付するとともに、保存を行う者又は監督者に関する情報を確認できるようにしておく。	非対応
		③記録事項の訂正・削除を行った場合に、これらの事実及び内容を確認できるシステムまたは記録事項の訂正・削除を行うことができないシステムで取引情報の授受及び保存を行う。	非対応
		④正当な理由がない訂正・削除の防止に関する事務処理規程を定め、その規程に沿った運用を行う。	― （別途事務処理規程を設ける）
可視性の要件	設備要件	ディスプレイ・プリンタ等を備え付け、電子データをいつでも速やかに出力できること	別途準備
	検索要件 ①～③の要件をすべて満たす	①「取引年月日」、「取引金額」、「取引先」により検索できること	対応
		②日付または金額の範囲指定により検索できること	対応
		③2つ以上の任意の記録項目を組み合わせた条件により検索できること	対応

GOOD!

電子帳簿保存法の検索要件を満たすことで、顧客の作業効率向上

これからはじめる電子取引データ保存義務化対策

STEP 01. 機器導入

パターン①

DG1000を導入
＋
サクササーバを導入

パターン②

DG1000のみ導入
＋
既設サーバ※と連携

STEP 02. 事務処理規程を設ける

- 国税庁のURLから事務処理規程のひな形をダウンロード

国税庁 事務処理規程

フォーマットはコチラへ

- 管理責任者、処置責任者の設置
- 電子取引の範囲、対象データの取り決め

STEP 03. 運用方法の教育

- 電子取引データを受領したら、ドラッグ&ドロップで登録

領収書など、紙の書類を電子化

- プレビュー画面を見ながら属性情報を入力

※SMBプロトコルに対応したNAS/ファイルサーバ

DG1000による課題解決

インボイス

登録番号がない請求書/領収書だと、**仕入れ税額控除の手続きができない。**

インボイス登録番号の記載漏れを事前に把握。仕入れ税額控除漏れを防止!!

- 電子取引データを保存する際、インボイス登録番号を索引簿の情報として登録
- 経理担当者が索引簿をエクスポートし、インボイス登録番号がない電子データを抽出
- 電子取引データにインボイス登録番号がない場合は、取引先に対して、インボイス登録番号が記載された電子取引データの発行を依頼

管理・記録

Excelによる台帳管理だと、電子取引データの訂正/削除が誰でもできてしまう。**誰が行ったのか分からないと不正が発生する恐れがある。**

電子データの変更/訂正履歴が残るので、不正な経理処理を抑止!!

- 訂正/削除した場合、記録
- 変更/訂正履歴はCSVファイルで出力
- 変更/訂正を誰が、いつ行ったのか判明

かんたん連携

社外の税理士に対して、電子取引データを提出したい。定期的にUSBメモリで提出しているが、**毎回手渡しする手間や紛失のリスクがある。**

「サクサ GFシリーズ」と連携することで、社外の税理士に対して電子取引データをインターネット経由で送付可能。直接渡す手間が省けて効率アップ!!

- NAS連携先にGFを指定
- GFの大容量ファイル転送機能※1を使い、電子取引データ転送用のURLを生成
- 社外の税理士に電子取引データ転送用のURLを送付
- 社外の税理士はURLをクリックし、リモートでGF内の電子取引データを取得※2

※1 DDNSもしくは固定IPに対応したルーターが必要　※2 HTTPS通信で送付